

第29年度 第2回中野区入札監視委員会議事録概要

1 開催日時・場所

(緊急を要するため、各委員に個別に報告し、意見を求める持ち回り開催とした。)

武藤委員長 平成29年8月22日(火) 15時00分～15時30分

法政大学市ヶ谷キャンパス 新見附校舎3階 A301号室

大谷委員 平成29年8月18日(金) 8時30分～9時

中野区役所9階 第13会議室

只腰委員 平成29年8月23日(水) 13時30分～14時

小田急電鉄株式会社本社(新宿区)

2 出席者

委員 武藤 博己(委員長)、大谷 典孝(委員)、只腰 憲久(委員)

事務局 石橋 一彦(副参事 経理担当) (契約担当係長 天野)

3 議事

(1) 談合情報を得た工事の入札手続きに関する経緯について

4 議事内容（主な意見等）

(1) 談合情報を得た工事の入札手続きに関する経緯について

委員の主な意見・質問等	区の説明・回答
<p style="text-align: center;">—</p>	<p>談合情報を得た工事の入札手続きに関する経緯について、以下を説明した。</p> <p>① 談合情報調査委員会を設置・開催し、当案件の取扱いについて審議していること</p> <p>② 参加事業者に事情聴取を実施し、談合等の事実がないことを直接確認したこと</p> <p>③ 参加事業者から談合の事実はないこと、入札後に談合情報調査委員会の判断により入札を無効とされたとしても異議を申し立てないこと記した誓約書を徴取し、開札に臨んだこと。</p> <p>④ 当案件について、以下の事実を踏まえ、入札監視委員会委員（学識経験者）から意見聴取を行うこと。</p> <p>○事前のヒアリングから、談合の事実は見受けられなかった。</p> <p>○入札辞退者はなかった。</p> <p>○落札者以外は予定価格超であったが、最も近い事業者は0.3%超で落札の可能性は高かった。</p> <p>○予定価格は事後公表であり、事業者は知りえない。（通報者からは予定価格についての情報提供はなかった。）</p> <p>○当案件は、総合評価であり、価格以外の要素も評価対象である。</p> <p>○積算内訳書からも、落札者は精緻な見積もりをしていると想定される。</p>

<p>談合の事実は確認されなかったが、談合がなかった事実も確認できなかった。談合情報通りの結果となったからには、談合は許さないという区としての厳しい姿勢を示すべきである。手続きが煩雑にはなるが、区内制限を緩和し、再発注するのが適当である。</p>	<p>—</p>
<p>談合の事実は確認されなかったのだから契約締結に進むことは差支えないと考えるが、談合がなかった事実も確認できなかったため、再発注するのが適当である。</p>	<p>—</p>
<p>今回のケースの場合に入札を無効とする規定はないが、談合がなかった事実も確認できなかったため、再発注するのが適当である。</p>	<p>—</p>